

町田市立陸上競技場

ネーミングライツ（命名権）と施設の紹介



町田市

<目次>

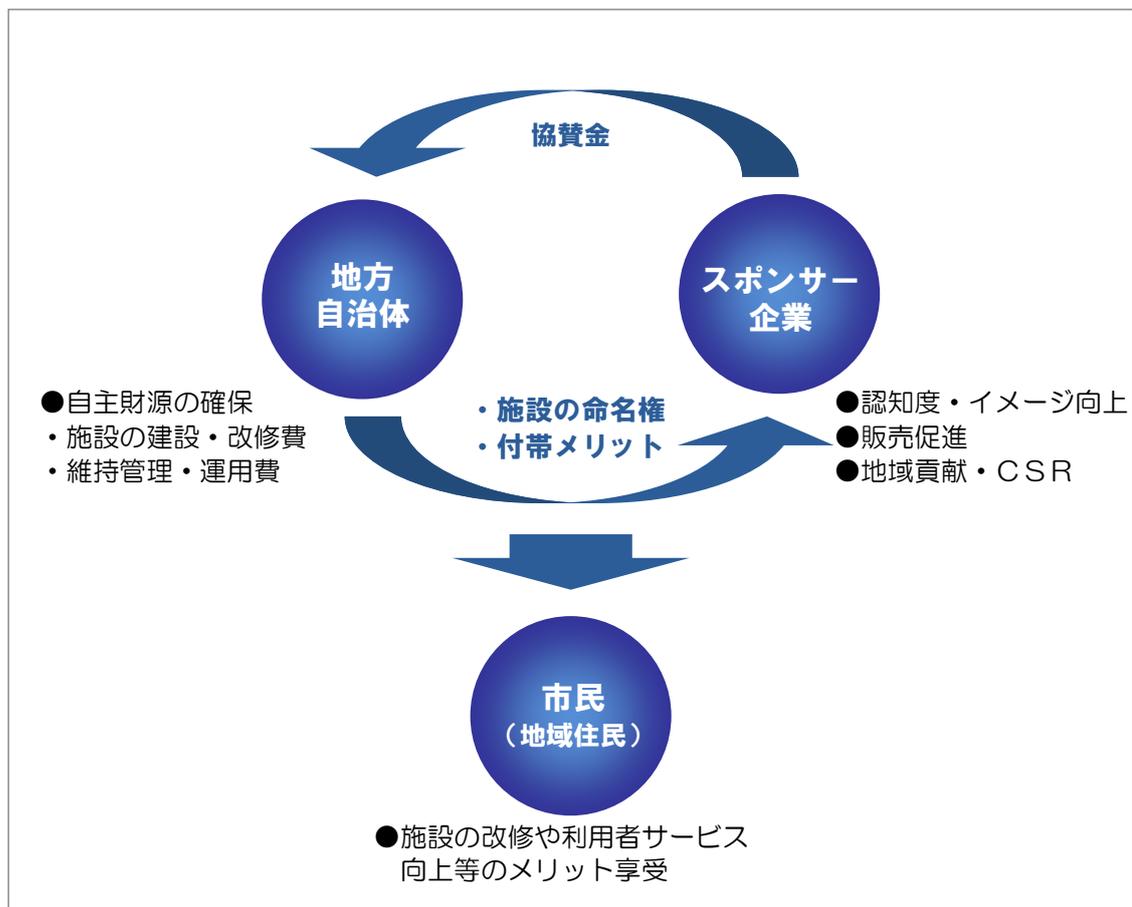
1. ネーミングライツ（命名権）とは	1
2. ネーミングライツ（命名権）に期待できる効果.....	2
3. Jリーグホームスタジアムの先行事例	3
4. 施設紹介.....	4
4.1 町田市立陸上競技場の改修工事について.....	4
4.2 施設概要.....	5
4.3 立地環境.....	6
4.4 利用状況.....	7
5. 期待できる名称露出機会	8

1. ネーミングライツ(命名権)とは

効果的な広告・PR、企業ブランディング手法として 公共施設のネーミングライツ(命名権)が注目されています

- 多くの人々が来場し、情報発信力の高いイベントが開催されるスポーツ施設等の名称は、それ自体が大きな媒体価値を有しています。「ネーミングライツ」(命名権)とは、こうした施設名称が持つ媒体価値や地域でのシンボリックな価値に着目し、その名称にスポンサー事業者の事業者名やブランド名を付与する権利を扱うスポンサーシステムです。
- ネーミングライツ(命名権)を活用することで、スポンサー、市民(地域住民)、施設所有者(行政など)間で、下図のように、各々にメリットのある良好な関係を構築することが可能となります。

■公共施設へのネーミングライツ(命名権)導入の仕組み

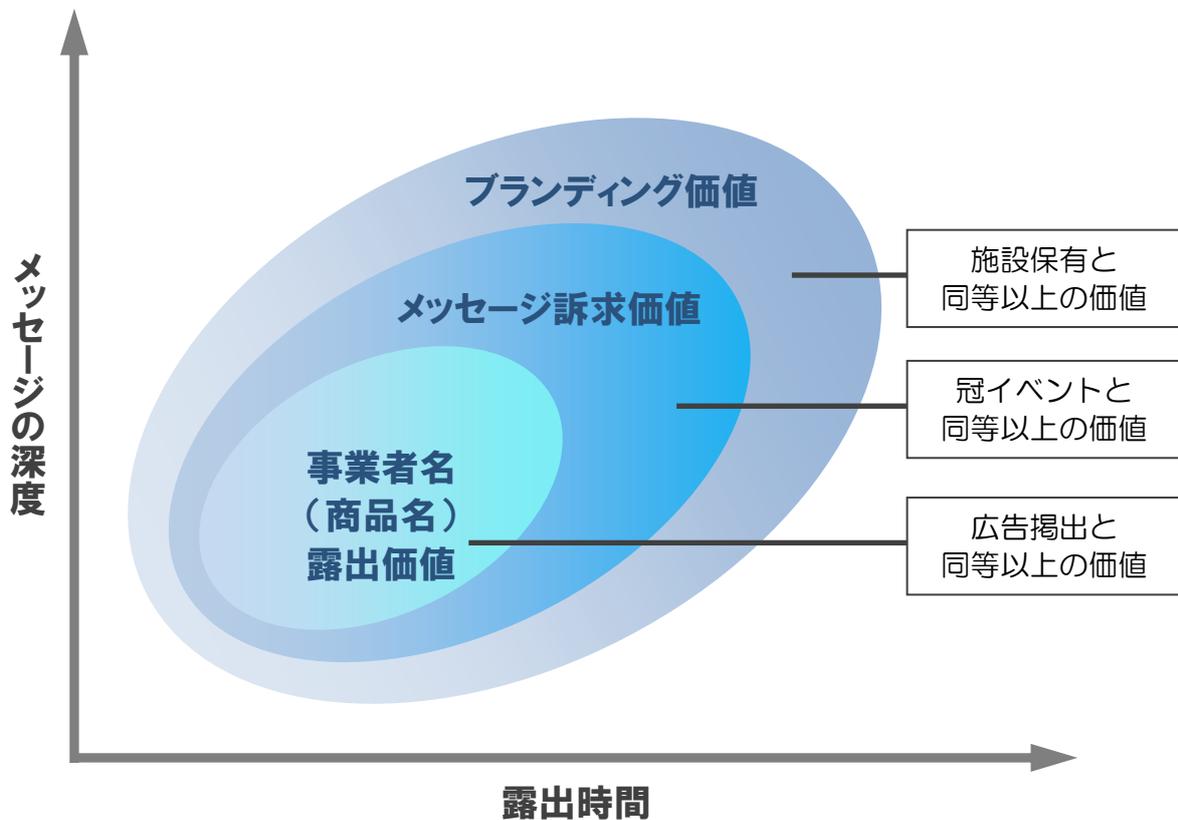


2. ネーミングライツ(命名権)に期待できる効果

スポンサーにとってのネーミングライツ(命名権)の期待効果は 広告・PR から地域貢献の具現化まで、幅広い領域に及びます

- ネーミングライツ（命名権）のスポンサーは、情報発信力を有する施設の名称に事業者名やブランド名を付与することで、その施設が持つ媒体価値を最大限に活用したコミュニケーション戦略を展開することができます。
- また、付帯するスポンサー特典の条件によっては、来場者に対するセールスプロモーション活動の展開など、直接、間接的に様々なメリットを享受する事も可能となります。

■スポンサーにとってのネーミングライツ（命名権）の価値



社名（商品名）露出価値	メッセージ訴求価値	ブランディング価値
<p>マス媒体を始め、イベント主催団体の関連媒体、会場内外の案内サイン、イベント告知媒体等、様々な媒体で事業者名（商品名）が露出する機会が得られます。</p>	<p>冠スポンサーイベントと同様に、スポーツイベントやエンターテインメント空間の感動を媒介として企業メッセージを発信することが可能です。</p>	<p>時間の限定されるスポーツイベント協賛とは異なり、恒常的にメッセージを発信するとともに、地域に貢献する姿勢をアピールできるツールとして機能します。</p>

3. Jリーグホームスタジアムの先行事例

企業イメージの革新、地域貢献シンボル、企業認知度アップなど ネーミングライツ（命名権）を活用した様々な取り組みが展開されています

- 味の素スタジアムが国内で初めて公共施設へネーミングライツ（命名権）を導入した2003年以降、全国的に普及が進み、現在では、Jリーグに所属する55クラブ※のうち、41クラブ（約4分の3）がネーミングライツ（命名権）を導入したスタジアムを主たるホームスタジアムとしています。

※U-23のクラブを除く

■味の素スタジアム

スポンサー事業者	：味の素株式会社
ホームクラブ	：FC東京、東京ヴェルディ1969
金額・契約期間	：2.3億円 × 5年間（2019年3月～）

食料品メーカーの味の素が、若年層向けの新しい企業イメージの訴求を主目的にスポンサーし、両ホームクラブサポーターから、「味スタ」の愛称で親しまれるなど、当初の戦略に沿った成果が得られています。



■フクダ電子アリーナ

スポンサー事業者	：フクダ電子株式会社
ホームクラブ	：ジェフユナイテッド市原・千葉
金額・契約期間	：3,000万円 × 5年間（2016年4月～）

医療機器メーカーのフクダ電子が、企業の認知度の向上と地域社会への貢献をねらいとしてスポンサーとなり、自社商品（AED）のPRの場としても活用しています。



■ポカリスエットスタジアム

スポンサー事業者	：大塚製薬株式会社
ホームクラブ	：徳島ヴォルティス
金額・契約期間	：2,500万円 × 5年間（2017年5月～）

医薬品・食料品メーカーの大塚製薬が徳島県鳴門総合運動公園の命名権を取得し、公園名を「鳴門・大塚スポーツパーク」とするほか、ポカリスエットスタジアムを含む、同公園内の4つの施設に自社の商品名を冠しています。



■ニンジニアスタジアム

スポンサー事業者	：ニンジニアネットワーク株式会社
ホームクラブ	：愛媛FC
金額・契約期間	：2,128万円 × 5年間（2019年3月～）

文具・事務用品の通信販売を行うニンジニアネットワークが「多くの県民にスポーツや文化に関心を持ってもらいたい」という想いから地域貢献の一環としてネーミングライツを取得しています。



※金額は、いずれも年額・消費税別

4. 施設紹介

4. 1 町田市立陸上競技場の改修工事について

町田市立陸上競技場では、観客席を約 10,000 席から約 15,000 席に増席する改修工事を行います

改修工事により、J1 リーグのスタジアム基準を満たし、FC町田ゼルビアの J1 昇格が可能となります

<改修工事完了時のイメージパース>



<改修工事スケジュール>

2018年	2019年	2020年	2021年
	造成工事	建築工事	
	2018年11月 ～2019年8月	造成工事後～2021年3月	2021年2月 竣工予定

4. 2 施設概要

所在地	東京都町田市野津田町 2035
開業年	1990 年
指定管理者	スポーツパークパートナーズまちだ
建築面積	4163.94 m ²
延床面積	9663.33 m ²
工事費	メインスタンド改修（2011～2012 年度）：約 30 億円 バックスタンド増築（2018～2020 年度）：約 48 億円
建築概要	鉄筋コンクリート造＋鉄骨造、地上 7 階建て
施設構成	トラック : 400m×8 コース（全天候型ウレタン舗装） フィールド : 7,600 m ² 観客席 : メインスタンド 2,492 席、バック・サイドスタンド 7,840 席 計 10,332 席 ※バックスタンドを増設し、15,000 席以上とする予定。 館内施設 : 観客席、運営本部室・医務室・救護、授乳室、警察、消防司令控室、 大型映像装置、写真判定機審判控室（6 名程度）、スタッフ控室、 選手控室、ドーピングコントロール室、貸会議室、更衣室・ロッカールーム・トイレ、トレーニングルーム（人工芝）
施設内容	町田市立野津田公園内に立地する陸上競技場で、J2 リーグ FC 町田ゼルビアのホームゲームのほか、ラグビートップリーグの公式戦や、各種陸上競技イベントなどが行われています。
施設の特徴	○J2 リーグの試合開催可能施設（FC 町田ゼルビアのホームスタジアム） ○日本陸連第 3 種公認陸上競技場（第 2 種の要件を満たす用具を保有）



競技場俯瞰図



競技場北面外観

4. 3 立地環境

- 町田市立陸上競技場（以下、陸上競技場）が立地する町田市立野津田公園（以下、野津田公園）は町田市のほぼ中央に位置し、40haの広さを持つ、市の公園として最も大きな公園です。
- 園内には陸上競技場のほか、野球場やテニスコートなどの運動施設が整備されているほか、丘陵地域の里山の豊かな自然が残されています。
- 野津田公園を中心にして、4～5kmの距離に横浜線、京王相模原線、小田急多摩線、小田急小田原線が取り囲むように延びています。

■主要な交通拠点からの距離とアクセス

【車を利用したアクセス】

- 町田駅から6.5km（車で25分）
- 東名高速道路 横浜町田ICから約13.5km（車で約35分）
- 中央自動車道 国立府中ICから約11km（車で約25分）
- 首都圏中央連絡自動車道 相模原愛川ICから約11km（車で約35分）

【公共交通機関を利用したアクセス】

- 町田駅からバスで約20分、「野津田車庫」下車後、徒歩約15分
- 鶴川駅からバスで約10分、「サンシティ町田」下車後、徒歩約10分
- 多摩センター駅からバスで15分、「サンシティ町田」下車後、徒歩約10分

■野津田公園位置図



■野津田公園内マップ



出所：町田市立陸上競技場ホームページ [http://www.nozuta-park.com/access.html]

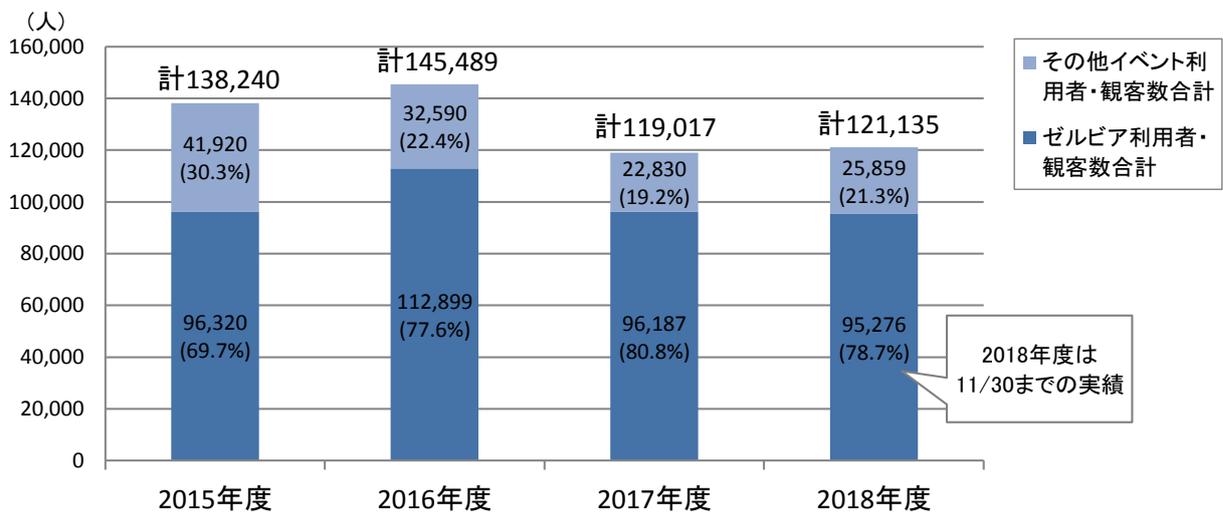
4. 4 利用状況

- 陸上競技場では、年間約 60 以上のイベントが実施されており、そのうち、FC 町田ゼルビアのホームゲームは 21 試合（2018 年度実績）開催されています。
- FC 町田ゼルビアのホームゲームは 1 試合あたり約 4,700 人が観戦しており、年間で 10 万人近い観客が来場し、施設利用者・観客数の約 8 割を占めています。

■主要なイベント

イベント名	参加者・観客数 概算（人/回）
FC 町田ゼルビアホームゲーム（年間 20 試合程度）	4,700
ラグビートップリーグ公式戦（年間 1～2 回程度）	3,400
町田市こどもマラソン大会（12 月）	3,300
天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権大会（年 1 回程度）	2,700
武相マラソン大会（4 月）	2,600
町田市中学校対抗陸上競技大会（9～10 月）	1,700

■年度別利用者・観客者数



5. 期待できる名称露出機会

施設案内サインやイベント告知の広報物、地図や関連ホームページなど、施設名称が露出する媒体は、多岐にわたります



周辺案内サイン

- ・道路案内サイン
- ・沿線鉄道案内サイン
- ・地図・ロードマップ
- ・カーナビ

など



マスメディア

- ・新聞、雑誌
 - ーイベント案内
 - ー試合結果報道
- ・関連書籍、ガイドブック
- ・テレビ、ラジオ
 - ー中継、試合報道

など



敷地内サインなど

- ・施設名称表示
- ・ゲートサイン
- ・施設内案内サイン
- ・イベント案内板
- ・各種案内・掲示物
- ・スタッフジャンパー
- ・車両・備品類

など

イベント告知ツール

- ・イベントカレンダー
- ・ポスター・チラシ
- ・その他イベント告知広報媒体
- ・入場チケット
- ・チケット販売店 POP

など

施設名称 (企業・ブランド名)

ウェブサイト・SNS

- ・施設公式ホームページ
- ・Jリーグホームページでの施設紹介
- ・スポーツ関連サイト
- ・ネットニュース
- ・ファンや来場者の Blog や SNS

など

広報誌・印刷物

- ・施設パンフレット
- ・行政、関連団体の広報誌
- ・プレスリリース
- ・ホームクラブやJリーグ関係の出版物
- ・オリジナルグッズ、記念グッズ

など



出所：町田市立陸上競技場ホームページ [http://www.nozuta-park.com/access.html]